

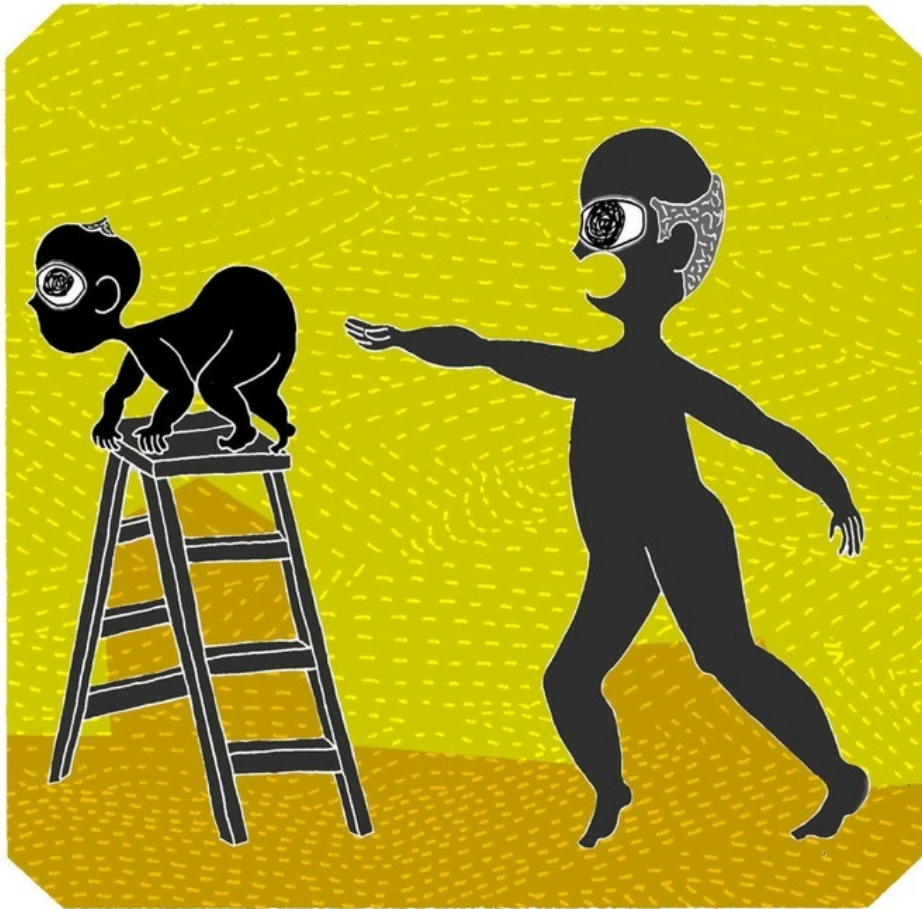


第18回

木木

週捲り

by



新しい遊び

小さな脚台

見つけて、お君大喜び。「高いよ！ 落ちるよ！ 危ないよ！」とおちゃん、声をかけても知らん顔。こっぺん登って大得意顔。また新しい遊びを何覚えたお君でした。

狭い世界

昔は新聞が、そして、テレビが人々の共通の話題づくりしてきた。今はケータイ、インターネットでしか話をしてないため、共通の話題が少ない狭い世界になっていくんだねえ。世界が広がりつつの地球市民になろうとしていているのに。矛盾！ 矛盾！



受け継ぐ物はない

伸び

伸び人生。家には受け継ぐ物も金もない。親は親の仕事とは異なる先端でなくともイイから、時代に合った仕事を探して自立せよ。と言いつつ出てきた。勉強は出来ても出来なくても、自立に役立つから、大学へ行き視野を広げるとイイ。



昼夜働いて

大会社で仕

事がピンチで死にそうになる位、昼夜働いても間に合わない。でも隣の課の人達は定時に帰る行く。もうやんなっちゃう。でもお陽様は毎日ちゃんと昇り、また沈んでいく。地球的には何も変わらない。挫けそうなのは私だけなの？



心のパネ

徳川家康では

ないが▲惨めな時の顔写真▼を
自室の壁に貼り付けなさい。
自分の賤布にいつも入れと
きなさい。そして、これを見
て▲心のパネ▼にして仕事した
ら、何だって出来る気がするから。



シルバースーツ

俺はもう、ハンディ

キヤップパセーションになってい
るんだぞ。気が引けるけれど、
胸を張ってシルバースーツに座れる
んだぞ。そんな事しても
イイのかなあ？ 女の子や若い
子にもっと弱々しい子一杯い
るんだけれど。



遊んでいてズルイ

五ちゃん

は絵本を書いている仕事をし
ているんだよ。ちっとも売れ
ないけんど。と言うと、お君
いわく「五ちゃん働きなさい」
「お店をやりなさい」と。そし
て「五ちゃんは毎日遊んでいて
ズルイ」とも言われた。

